

Hem21 NEWS

公益財団法人
ひょうご震災記念21世紀研究機構
ニュース

CONTENTS

- ～ 平成30年度
研究成果報告会
- ～ 地域支援活動
- 情報ひろば
- ネット社会において
青少年を守り育てるためには
- HAT神戸掲示板
- ～ 人と防災未来センター
MiRAi

「Hem21」は、ひょうご震災記念21世紀研究機構の英語表記である
Hyogo Earthquake Memorial 21st Century Research Instituteの略称です。

令和元年(2019) 9月

Vol.
77

平成30年度研究成果報告会 地域コミュニティの防災力の向上シンポジウム －みんなが＜助かる社会＞の構築をめざして－

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 研究戦略センター研究調査部

人口減少、超高齢化による担い手の不足や、コミュニティの希薄化が進むなか、どのようにして地域コミュニティの防災力を向上させるかは喫緊の課題です。研究戦略センターでは、平成29年度から30年度にかけて研究調査部において実施した「地域コミュニティの防災力向上に関する研究～インクルーシブな地域防災へ～」の研究成果報告会を姫路市内で開催しました。

会場に集まった約200名の参加者を前に、地域の個性や地域住民、行き交う人々の多様性に配慮した地域防災、誰もが「助かる社会」の実現に向けて、活発な議論が交わされました。

- (日時) 令和元年6月3日(月)13:30～16:30
- (場所) ホテルモントレ姫路 3階ラフェスタ
- (参加者) 197名(行政職員(県・市町)、大学、企業、シンクタンク、地域団体、一般県民等)
- (参加費) 無料
- (主催) 公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構
- (後援) 兵庫県(西播磨県民局、中播磨県民センター、東播磨県民局、北播磨県民局)、関西広域連合、上郡町

(内容)

●基調講演

「地域コミュニティの防災力の向上 －みんなが＜助かる社会＞の構築をめざして」

講演者: 渥美公秀 大阪大学大学院人間科学研究科教授
当機構研究戦略センター
政策コーディネーター(H29～30年度)

シンポジウムでは、最初に「地域コミュニティの防災力の向上－みんなが＜助かる社会＞の構築をめざして」をテーマとして、「地域コミュニティの防災力向上に関する研究～インクルーシブな地域防災へ～」研究会代表者である渥美公秀 大阪大学大学院人間科学研究科教授から講演いただきました。まず、研究会の背景として、阪神・淡路大震災から25年を迎えようとする今、防災の取り組みはかなり進んできてはいるものの、超高齢社会、人間関係の希薄化等でコミュニティの力が低下しています。研究会ではこうした背景を踏まえ、多様な人々一人ひとりに配慮したインクルーシブな地域防災のあり方について、高齢化の進む兵庫県上郡町赤松地区をモデル地区として検討を重ねてきた内容について報告がありました。そのなかで地域防災力を向上させるためには、防災に特化せず、



地域おこしや福祉等の取り組みと連動させていくことが重要であり、当事者である地域住民はもとより、行政や専門家等のアドバイザーチームを交えて地域コミュニティの魅力と課題について対話を重ね、取り組みを進めていくことが必要との指摘がありました。

●基調報告

「赤松地区連合自主防災組織の取り組み」

報告者: 古正好晴 兵庫県上郡町赤松地区連合自治会長



次に、兵庫県上郡町赤松地区での自主防災の取り組みについて、古正好晴 赤松地区連合自治会長から報告いただきました。播磨国守護の赤松円心、また明治政府の礎を築いたとされる大鳥圭介男爵の縁の地である上郡町赤松地区では、豊富な歴史資産を活用したイベントの開催に熱心に取り組むとともに、地域の自主防災についても活性化を図ってきました。そうした中で「地域コミュニティの防災力向上」研究会からの提案を受け、超高齢化社会における自主防災のモデルとして、地域活動の機会

令和元年度春期 災害対策専門研修マネジメントコースの実施結果

当センターでは、地方自治体の防災担当職員を対象に「災害対策専門研修」マネジメントコースを平成14年度から実施しています。この研修コースでは、災害対策の中核を担う人材の育成を目的とし、阪神・淡路大震災の教訓のほか最新の研究成果も取り入れ、能力に応じた体系的・実践的なカリキュラムを提供しています。平成30年度末で延べ3,263人の方々が受講し、高い評価を受けています。今年度春期においては、「ベーシック」、「エキスパートA」、「エキスパートB」のほか、昨年度までは秋期に実施していた「アドバンスト／防災監・危機管理監コース」を実施しました。

「ベーシック」は、防災担当者として応急期から復興期まで対応していくために必要となる知識のうち、初めて防災業務に従事する者が押さえておくべき必須の知識を集中的に講義し、経験年数の浅い防災・危機管理担当部局の職員が早期に災害対応できるようになることを目指しています。災害関連法や地域防災計画の法的な位置づけなど基礎的な事項や、行政における災害対応業務の実際など実践的な事項についての講義を実施しました。

「エキスパート」では、災害対応の具体的事例や演習などを通して、大規模災害発生時に各種対応が同時並行的に展開する状況を横断的・総合的にとらえ、これに対処する能力を向上させることを目的とし、AコースとBコースに分け

て、初動期から応急期さらには復旧・復興期に至る災害対応、民間企業や自衛隊との連携、自治体間の広域的な連携等について講義を実施しました。

「アドバンスト／防災監・危機管理監」は、防災部局以外の部局から転入してきた防災監・危機管理監に早期に防災の知識を身につけていただくため、今年度より秋から春に開催時期を早めて実施しました。このコースでは、地方自治体のトップを補佐する者としての能力を向上させることを目的に、大規模災害発生時に政策的な判断を迫られる事項等について演習・講義を行いました。

研修終了後のアンケートでは、「講義を聞いて理解するだけでなく、得た知識を他の受講生と共有し、自分の中で再確認することができた。」「俯瞰して災害対応の全体像を見る力がついた。」「討論形式や演習形式のワークショップで他の自治体職員から幅広い情報提供を受けることができた。」等の意見が寄せられました。さらに、受講者間の交流を通じて防災担当者間の全国的なネットワークが一層強まりました。

コース名	日程	参加人数	修了者
ベーシック	6月26日(水)～28日(金)	69人	69人
エキスパートA	6月11日(火)～14日(金)	28人	28人
エキスパートB	6月18日(火)～21日(金)	27人	27人
アドバンスト／ 防災監・危機管理監	7月11日(木)～12日(金)	29人	29人
合計(延べ)		153人	153人



Hem21 NEWS
vol.77

令和元年9月発行

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構
〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2(人と防災未来センター)
<http://www.hemri21.jp/>

当機構は、以下の組織で構成しています。

● 管理部

TEL 078-262-5580
FAX 078-262-5587

● 研究戦略センター

▶ 研究調査部
TEL 078-262-5570
FAX 078-262-5593

● 人と防災未来センター

TEL 078-262-5050
FAX 078-262-5055

▶ 学術交流部

TEL 078-262-5713
FAX 078-262-5122

● ころのケアセンター

〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通1-3-2
TEL 078-200-3010
FAX 078-200-3017

ニュースレターに関するご意見・
ご感想を機構までお寄せください